

## 「キーワードに基づくセッション編成」の試行について

これまでの講演は、発表者各自が既成のセッション分類の何れかを選んで、そのセッション会場で発表する、というものでした。これはこれで良い点が幾つもありますが、分野が固定化したり分野間の流動性を鈍らせるという弊害もあります。

講演企画委員会としては、大会という色々な研究分野の人が一堂に会する機会には、なるべく広い範囲の分野間で交流することが大事である、と考えます。それで、従来の既成の分類にこだわらずに、講演内容の状況に応じた新しいセッションがその都度編成できるよう、発表者の希望や講演内容に沿ったキーワード（主・副）を講演申込時に発表者自身に示して頂く方法を、1992年春季大会（つくば地区）において試行致します。この試行は、前春季大会においてアンケートで会員の皆様の意見をお伺いしたり、天気誌に同文のお伺いをした結果、試行に前向きな関心を示して下さった御意見が多かったことに基づいております。

キーワードは、原則的には発表者自身によって自由に指示して頂ければ結構です。しかし、初めての試行でもあり、キーワード制に馴染んでいただくために、おおよそ予想できるセッション分類のためのキーワードを例として申込用紙のページの裏面に掲げておきます。ただ

し、この例では、副キーワードに上げられている項目でも、一つのセッションになるに足るものもありません。そうお考えの場合には、その項目を主キーワードとして指示して下さい。一向に差し支えありません。いずれにせよ、講演申込みの状況や数などを考慮して、適宜プログラム編成すべきと考えます。従来のセッション分類でよし、とされる方々にも、おおむね従来の分類に該当するキーワードを例として上げてありますので、これらを参考にして講演申込みして頂ければ宜しいかと思えます。

なお、キーワードは、講演企画委員会のプログラム編成に参考にするための必須情報であって、セッション名ではありません。今回の試行は、多くの方にとっては、（結果的には）従来の分類と同じになると予想されますが、境界領域や新しい枠組みのセッションを望まれる方には、新しいキーワードを提案して頂けることを切に望みます。今回は試行ですので、結果を見ながら、修正してゆく積りです。皆さんからの御意見は、随時、講演企画委員会にお寄せ下さいますよう御協力のほどお願い致します。

1991年12月

講演企画委員会